

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	農薬健康・環境影響対策費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	土壌環境課農薬環境管理室		農薬環境管理室長 西嶋英樹		
会計区分	一般会計		施策名	3-5 ダイオキシン類・農薬対策				
根拠法令(具体的な条項も記載)	・農薬取締法(第2条、第3条(農薬の登録)、第12条(農薬の使用の規制)) ・農薬を使用する者が遵守すべき基準(平成15年3月7日農林水産省・環境省令第5号)		関係する計画、通知等					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農薬の環境リスク評価に関する課題に対応するため、我が国における水域生態系への新たな影響評価手法の開発、生物多様性への影響に関する総合的な評価手法を開発するための調査等を実施する。 また、無人ヘリコプター散布による健康被害の未然防止のため、健康リスクを適切に評価・管理する手法を開発する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	① 農薬による生物多様性への影響評価法として、生物群集に対する影響について実験生態系レベルでの調査を行い、それを踏まえて評価・管理手法を検討。また、水域生態系への影響について、統計学的手法を活用した毒性評価及び解析を行い、リスクを定量的に評価する方法を検討。 ② 無人ヘリコプター散布面積の多い農薬について人への健康リスクを評価するための吸入毒性試験を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	146	135	144	117	120	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
		計	146	135	144	117	120	
	執行額	124	99	123				
執行率(%)	84.9%	73.3%	85.4%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	農薬の生態系全体への影響や人への健康リスクの低減の程度を定量的に示す指標は現時点では存在しないため、成果指標は記載できない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	吸入毒性評価実施農薬数		活動実績(当初見込み)	-		2 (2)	2 (2)	(2)
単位当たりコスト	18,469,250 (円/農薬)		算出根拠	平成22~23年度試験実施費用合計(73,877,000円)/平成22~23年度試験実施農薬数合計(4農薬)により算出				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	公害調査費	85	93	公害調査費に含まれる業務のうち、農薬の生態系に対する影響については、生物多様性国家戦略の改訂時にも課題として位置づけられており、重点的に取り組む必要があることから、増額した。 これに併せて、公害調査費に含まれるその他の業務及び公害調査等委託費については、事業内容を精査し、最低限の要求額としたため減額した。				
	公害調査等委託費	32	27					
計	117	120						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境に係る農薬登録保留基準は環境大臣が定めることとされており、その評価手法や農薬登録保留基準も含めたリスク管理手法の開発を国が行うことは妥当である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	入札は全て競争入札で行われており、総合評価落札方式のものについても、農薬が環境及び健康に与える影響を科学的に評価する上で専門的な知識が必要な業務である。 また本費用は継続的なものであり、年次ごとにコストの削減の可能性について検討し、可能な範囲でコスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	調査の結果を基に農薬使用現場における環境及び健康への影響を低減するための管理手法の作成に役立っている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまで、水域生態系における農薬のリスク評価は、特定の指標生物種の室内毒性試験データに基づき行われており、また、リスクの大小を定量的に捉えてリスク管理措置を実施することが課題となっている。本事業により、地質や気候条件などがもたらす各地域特有な生態系の実態に即した影響や、生態系の多様な生物種への影響を踏まえたリスク評価法を開発するとともに、無人ヘリによる防除など、使用状況の変化に応じたリスク管理の見直し等を検討していくことが重要である。</p> <p>このため、引き続き事業を実施するとともに、生物群集地域レベルでの試験や、無人ヘリコプター散布農薬の吸入毒性試験などについて、実施試験数を増やすことなどにより、リスク評価・管理手法の開発を加速していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	支出の透明性確保に努めるとともに、事業内容の重点化を図ることで概算要求額の縮減に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	農薬の生態系に対する影響については、生物多様性国家戦略の改訂時にも議論が重ねられるなど、重点的に取り組む必要があることから、増額するとともに、その他の業務については、事業内容を精査し、最低限の要求額とした。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	278	平成23年行政事業レビュー	087

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

環境省
122百万円
〔各事業実施事業者との契約
事業の進行管理及び全体統括〕

【総合評価入札】

A. (社)日本植物防疫協会
8百万円

〔陸域生物に対する農薬の暴露量調査〕

【一般競争入札】

B. (財)自然環境研究センター
14百万円

〔検討会設置・運営、鳥類行動調査の実施〕

【一般競争入札】

C. (財)畜産生物科学安全研究所
3百万円

〔鳥類農薬毒性評価結果の解析〕

【一般競争入札】

D. (独)農業・食品産業技術総合研究機構中央
農業研究センター
4百万円

〔鳥類農薬摂餌量調査〕

【少額随意契約】

E. 日本野鳥の会
1百万円

〔スポットセンサス解析調査〕

【少額随意契約】

F. (財)リバーフロント整備センター
1百万円

〔ラインセンサス解析調査〕

【一般競争入札】

G. (独)国立環境研究所
15百万円

〔検討会設置・運営
・農薬による生物多様性への影響評価手法の
調査・検討〕

【一般競争入札】

H. (財)化学物質評価研究機構
9百万円

〔除草剤に係る藻類生長阻害試験の実施〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

【一般競争入札】

I. (財)残留農薬研究所
5百万円

・農業の大气経路による影響評価事業に係
る検討会の設置・運営・吸入毒性情報収集

【一般競争入札】

J. (株)ボゾリサーチセンター
42百万円

吸入毒性試験の実施

【総合評価入札】

K. (株)エスコ
11百万円

モニタリング調査の実施

【一般競争入札】

L. (株)日曹分析センター
5百万円

水域生態リスクの新たな評価手法確立のた
めの毒性試験の実施

【一般競争入札】

M. (独)農業環境技術研究所
4百万円

水域生態リスクの新たな評価手法確立のた
めの試験解析調査の実施

A. (社)日本植物防疫協会			H. (財)化学物質評価研究機構		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	8		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	9
計		8	計		9
B. (財)自然環境研究センター			I. (財)残留農薬研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	14		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	5
計		14	計		5
C. (財)畜産生物科学安全研究所			J. (株)ボゾリサーチセンター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	3		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	42
計		3	計		42
D. (独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター			K. (株)エスコ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	4		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	11
計		4	計		11
E. 日本野鳥の会			L. (株)日曹分析センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1	人件費	試験の実施、解析等	3
			その他	光熱費等	2
計		1	計		5
F. (財)リバーフロント整備センター			M. (独)農業環境技術研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1	人件費	旅費、賃金等	3
			その他	光熱費等	1
計		1	計		4
G. (独)国立環境研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	15			
計		15			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A. (社)日本植物防疫協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本植物防疫協会	陸域生物部に対する農薬の暴露量調査	8	1	95.2

B. (財)自然環境研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	検討会の設置・運営、鳥類行動調査の実施	14	1	81.3

C. (財)畜産生物科学安全研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)畜産生物科学安全研究所	鳥類農薬毒性評価結果の解析	3	1	100.0

D. (独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター	鳥類による農薬の摂取量調査	4	1	87.6

E. 日本野鳥の会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本野鳥の会	スポットセンサス解析調査	1	随意契約	91.2

F. (財)リバーフロント整備センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)リバーフロント整備センター	ラインセンサス解析調査	1	随意契約	94.3

G. (独)国立環境研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	検討会の設置・運営、農薬による生物多様性への影響評価手法の調査・検討	15	1	91.3

H. (財)化学物質評価研究機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)化学物質評価研究機構	除草剤による藻類生長阻害試験の実施	9	1	96.1

I. (財)残留農薬研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)残留農薬研究所	農薬の大気経路による影響評価事業に係る検討会の設置・運営・吸入毒性情報収集	5	1	70.5

J. (株)ボゾリサーチセンター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ボゾリサーチセンター	第1期吸入毒性試験の実施	40	2	78.7
2	(株)ボゾリサーチセンター	第2期吸入毒性試験の実施	2	2	9

K. (株)エスコ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エスコ	モニタリング調査の実施	11	2	51.8

L. (株)日曹分析センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日曹分析センター	水域生態リスクの新たな評価手法確立のための毒性試験の実施	5	3	77.1

M. (独)農業環境技術研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)農業環境技術研究所	水域生態リスクの新たな評価手法確立のための試験解析調査の実施	4	1	85.7